

添田町の公共交通に関する住民アンケート調査 調査ご協力をお願い

町民のみなさまには、平素から町政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、町内を運行している公共交通（鉄道、西鉄バス、町バス、まちいこカー等）は、利用者が年々減少していることに加え、運転手等の不足により、今後持続的に運行していくことは厳しい状況になることも予想されます。また、高齢化により、自由に移動ができない方などが増加することも予想されます。

一方、「平成29年7月九州北部豪雨」により被災した、JR日田彦山線の添田駅～夜明・日田駅間については、JR九州によりBRT（バス高速輸送システム）での復旧に向けて準備が進められています。

このような状況を踏まえ、町内の公共交通網の持続的な運行と、更なる利用促進を図っていくために、町では、本年度・来年度にかけて、今後の交通施策について調査・検討を進めていくこととしています。

本調査は、その基礎資料とするために実施するものであり、町民のみなさまから、外出の状況や公共交通の利用状況についてご意見をお聞きするものです。

集計結果は、統計的に処理し公表させていただく予定ですが、個人が特定されることはありません。
ぜひ、みなさまの率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年8月 添田町

◆記入に当たってのお願い◆

① このアンケートは、**世帯主票**と**個人票**の2通同封しています。

世帯主票のご記入は、世帯主の方が記入してください。

個人票のご記入は、15歳以上（中学生を除く）のご家族の方が記入してください。

また、同居の家族が3名以上いらっしゃる場合は、お手数ですが、アンケート票右上のQRコードを読み取り、ご回答いただければ幸いです。

② 回答は、あてはまる選択肢に○を付けてください。（○の数は、質問によって異なりますので、質問をよく読んでお答えください。）

③ 「その他」や（ ）のある選択肢については、（ ）内に直接、ご記入ください。

◆返送方法◆

ご記入いただいた調査票は、**世帯主票**と**個人票**を一緒に同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和4年8月31日（水曜日）までにご投函ください。

【お問合せ先】

添田町役場 まちづくり課 まちづくり推進係（担当：小林、火ノ口）

Tel: 0947-82-5965 Fax: 0947-82-2869

【この資料をご覧になってお答えください】



日田彦山線BRT (JR九州プレスリリース資料より作成)

「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」で被災した日田彦山線の添田駅～夜明・日田駅間は、BRT(バス高速輸送システム)によって復旧をされます。

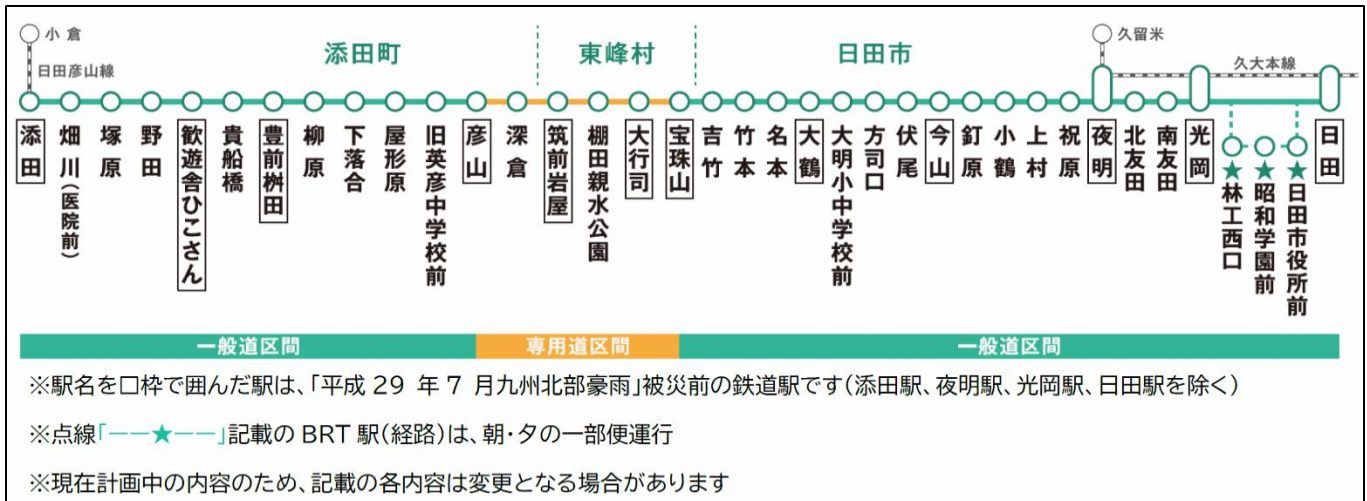
運行開始 **令和 5 年夏** (予定)

愛称  **日田彦山線BRT**
ひこぼしライン
HIKOBOSHI LINE
(正式名称：日田彦山線 BRT)

運行区間 日田彦山線 添田駅～夜明・日田駅 (約 40km)
※専用道区間は彦山駅～宝珠山駅 (約 14km)



設置駅 添田駅～夜明・日田駅間で鉄道駅 (12 駅) に加え、新たに 25 駅の BRT 駅を増設し、合計 37 駅の BRT 駅を設置。



添田町内では、添田駅～畑川(医院前)～塚原～野田～**歓遊舎ひこさん**～貴船橋～**豊前栲田**～柳原～下落合～屋形原～旧英彦中学校前～彦山～深倉に駅が設置される予定です。

※運行ダイヤや運賃、車両などは現在未定です。
JR九州からの発表にあわせ、町広報でもお知らせしていく予定です。

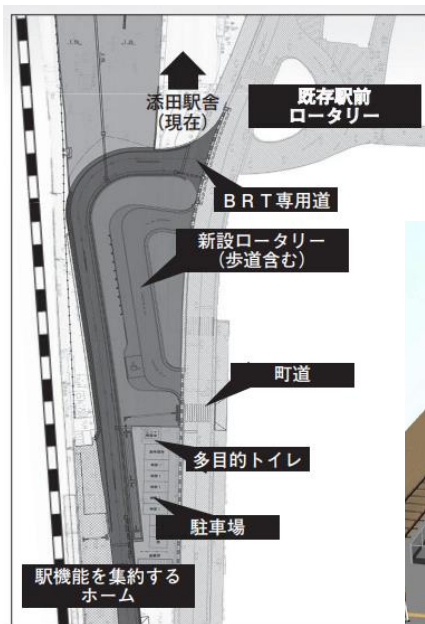
添田駅、彦山駅で運行に向けての整備を進めます

添田駅周辺の整備計画

現在の添田駅は、駐車場や駅舎、ホームとの間に距離があり、利用者にとって不便な状況です。

今回のBRT運行開始に向けた整備では、鉄道からBRTへの乗換がホーム上で円滑に行われるよう計画されていることから、町では、ホーム付近に一般車やタクシーの乗降場を備えたロータリーと歩道を整備し、利便性向上を図ります。

また、多目的トイレや駐車場も今年度設計し、来年度の整備を目指します。



※イメージにつき、変更となる場合があります。

彦山駅周辺の整備計画

①彦山駅舎(防災拠点施設)

BRT やタクシーの「待合所」、地域住民のコミュニティ施設としての「防災研修室」、避難時の備蓄品を保管する「防災倉庫」の3つの機能を持ち、災害時には指定緊急避難所となる施設を新設します。

また、外観は旧駅舎や奉幣殿の朱色をイメージした趣きあるデザインを計画しています。

②駅前広場・駐車場(防災広場)

平時は彦山駅利用者の駐車場、災害時には避難場所となる広場を整備します。

③雨よけ・風よけ(かまどベンチ)

災害時には炊き出しなどができる、かまどベンチ(屋外ベンチ)を設置します。



※イメージにつき、変更となる場合があります。

日田彦山線BRT沿線の賑わいづくりを進めます

町では、沿線の賑わいづくりや駅周辺整備に取り組んでいきます。多くの人にBRTひこぼしラインを利用してもらうため、今回のアンケート調査のほかに住民の皆さんとの意見交換会などを行うことで、駅周辺の賑わいづくりや持続可能な地域交通体系を目指していきます。引き続き、広報そえだなどでお知らせしていきますので、ご協力をお願いします。